

ゆくつと

師も走る季節です。やり残したことはありませんか。

休日に家族・子どもと心の触れ合いを

千葉県少年自然の家は、学校や少年団体だけでなく、家族でも利用していただくことができます。家庭での子どもとの触れ合いについて、千葉県PTA連絡協議会の岩本明会長にお話を伺いました。



いから学校や地域社会と連携しながら日頃、活動をしています。家庭にあっては、意図的に子どもとの心の触れ合いを大切にして生活していくことが重要であると考えています。文部科学省は「早寝 早起き 朝ご飯」というわかりやすいスローガンで基本的な生活習慣の確立を家庭に求めています。このような中で、休日に子どもと過ごし、家族との触れ合いや団欒が非常に大切なことと考えます。



ここで留意したいことは、親が子どもを思う強い愛情を子どもも同じように親に思っているかどうか、ということです。真の愛情とは子どもに受け入れられてはじめて成立するのではないかと思います。

子どもが、押し付けや強制として受け取るようであれば、愛情とは逆の反発や不信感を増殖することになるような気がしてなりません。休日などにじっくりと子どもの思いや考えを共感的に聞くことが大切なことです。

その上で、子どもと何でも話し合える雰囲気、環境を創造したいものです。

先般、関東ブロック研究大会千葉市大会が開催されました。関東甲信越各県、各政令指定都市から2,100人を越える会員が参集しました。この研究大会の特徴は、家庭教育や地域社会に関係した分科会への参加者が予想以上に多く、会員の関心の高さが現代の社会現象に比例しているように思われました。今、子どもを取り巻く環境はいじめや不登校、自殺、虐待、誘拐などなど大変厳しいものがあります。このような事件や事故を看過することはできません。



私たちは、「教育の原点は家庭から」を合言葉に、子どもに夢や希望を持たせたいとの願

いとして、地元長柄町社会福祉協議会のボランティアの皆様にご協力頂き、昔遊びのコーナーを開きました。子どもだけでなく、昔を懐かしんだ大人達も夢中になって遊び、国際交流ばかりでなく世代間交流も行われていました。

主編 秋のわいわいフェスティバル

10月29日(日)に「秋のわいわいフェスティバル」が開催されました。収穫祭の部では、古い農機具を使って行う脱穀・精米体験、紙すき、ドングリで作るトロ人形、木のプレートなどのクラフト体験、そして、昨年の収穫祭でも大人気だった泥んこレースとまっかちん(ザリガニ)釣りコンテストを今年も実施しました。

国際交流の部では、千葉市内で活動されている国際交流団体8カ国10団体のブースが並びました。各ブースでは世界各国の子どもたちの生活・教育の様子を展示し、各国民芸品の販売やコーヒー・お茶などのドリンク提供がありました。子ども達も大人も普段との生活の違いなどを実感して頂き、国際理解のきっかけづくりとなったようです。日本代表



として、地元長柄町社会福祉協議会のボランティアの皆様にご協力頂き、昔遊びのコーナーを開きました。子どもだけでなく、昔を懐かしんだ大人達も夢中になって遊び、国際交流ばかりでなく世代間交流も行われていました。

ステージプログラムは国際色豊かな発表となりました。ACPDはアフリカン太鼓とダンス。中南米音楽をギターで演奏してくれたギターサークルアルペジオ。タンバファンバアフリカンクワイヤーはジンバブエの聖歌。そして、城北流艶太鼓のみなさんは、子ども達の力強い和太鼓でフェスティバルを盛り上げてくれました。当日は雨の中、約800人の参加者にお越し頂き、多くの団体・ボランティア総勢180人のご協力により実施することができました。この場を借りて御礼申し上げます。

主編 ファミリーキャンプ ~秋の味覚を堪能しました~

[10月]里山で過ごすひととき ~収穫したお米でおにぎり作り~

10月のファミリーキャンプは、参加申込数がこれまでで最も多く、抽選の結果、15家族55名の参加がありました。1日目は、この秋に収穫したお米を昔ながらの道具を使い、脱穀・精米を体験し、そのお米を使って野外炊飯でおにぎりを作りました。脱穀・精米体験では、大人も子どもも初めて見る「足踏み脱穀機」「千歯こき」を使い、その日の夕食の材料となるお米を家族で一致団結して懸命に加工していました。おにぎり作りでは、初めて飯ごうでご飯を炊く家族が多かったにもかかわらず見事なご飯、おにぎりが出来上がりました。翌日は「秋のわいわいフェスティバル」に参加し、家族毎に楽しんでいました。



[11月]キウイ収穫とジャム作り
11月のファミリーキャンプはキウイ狩りとジャム作りをテーマとして、11家族38名の参加で実施しました。1日目はキウイだけでなく、自然の家での秋を探そうと「千葉の自然に親しむ会」の会員の方々に自然の家の季節を感じる案内をしてもらいました。色づきはじめて木の葉や実を眺め、田んぼゾーンでは水辺の生き物の観察を行いました。だいぶ冷え込んできたにもかかわらず、ザリガニの子どもやエビなどを見つけて、子ども達は大喜びでした。翌日は自然の家の近くにある農家の方の畑でキウイを収穫させていただき、すぐさま自然の家でキウイジャム作りに取り掛かりました。今回も「さくらの郷」のスタッフの指導のもとおいしいオリジナルジャムが出来上がりました。